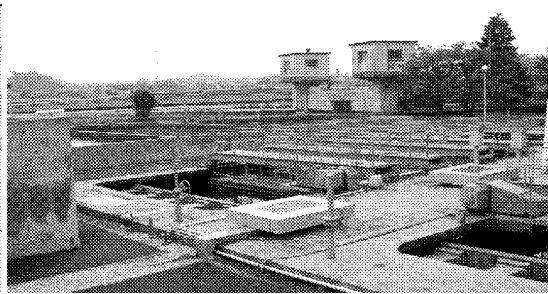
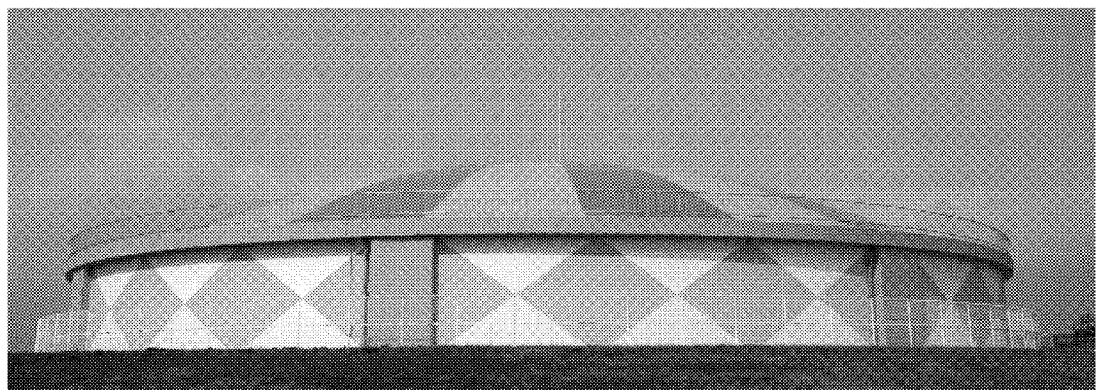


# 豊富な水量と優れた水質を誇る工業用水 田川工業用水道の魅力



厳しい水質管理が行われている浄水場

- ①望岳台団地 ②2,366円/㎡(参考価格)  
③東田原工業団地 ④5,240円/㎡ ⑤5,350円/㎡  
⑥三井号四郎工業団地 ⑦28,526円/㎡(3区画) ⑧4,090円/㎡  
⑨第2岩鼻工業団地 ⑩7,617円/㎡ ⑪6,220円/㎡  
①=募集中間値 ②=価格



田川工業水を配水する白鳥貯水タンク

福岡県の田川市と川崎町は、かつて国内最大規模だった炭田「筑豊炭田」の一角にある。炭鉱が閉山後、国による支援の一環で田川市に白鳥団地が整備された。この白鳥団地や周辺の自治体の分譲する工業団地等の利便性向上のため、濁度1以下という優れた水質を誇る「田川工業用水道」が整備された。現地食品企業と自治体の声を取材した。

## 良質な水をリーズナブル、安定的に供給

1975年4月、北部九州の産業基盤の中核を形成する筑豊地域の田川市エリアに工業用水の供給を開始(12年4月から川崎町エリアにも供給開始)した田川工業用水道(以下、田川工業)。遠賀川水系中元寺川、陣屋ダムを水源に良質な水を1立方メートルあたり48円というリーズナブルな料金で安定的に提供できるのが大きな特徴だ。水質は中小企業基盤整備機構による厳しい管理の下、「工業用水道水質標準基準値」を満たしており、浄水場では水温、濁度やpHを常にモニタリングしている。特に濁度は年間を通して常に1以下に下げられている。この品質を保ちつつ料金は上水と比較して約5分の1だ。しかも、契約水量が原則1日当たり100立方メートル以上であれば、法人、個人問わず誰でも利用できる。

## 工業用水道の供給標準測定項目の比較

検査項目	単位	田川工業用水 平成24年5月分析結果	工業用水道 供給標準値
①水温	℃	15.5	—
②濁度	度	1.0	20以下
③pH	—	7.1	6.5~8.0
④M-アルカリ度	mg/L	43.5	75以下
⑤全硬度	mg/L	79.2	120以下
⑥全蒸発残留物	mg/L	140	250以下
⑦塩化物イオン	mg/L	16.7	80以下
⑧鉄	mg/L	0.05	0.3以下

## 三好食品工業

## 年間を通じて安定した水質がこだわりを演出

国内では、等級が高い国産大豆の大粒と中粒を使用し、原料を惜しむことなく、濃い豆乳で豆腐を作る。そして、米国オハイオ州周辺をはじめ、国内外にある契約栽培の大豆生産地に三好兼治社長が毎年、自ら足を運び、品質を厳しくチェックする。こだわりの豆腐屋さん。こう呼ばれ、油揚げなどの大豆加工食品を製造・販売するのが、田川市の白鳥工業団地に本社と3つの工場を置く三好食品工業だ。製品は九州全域と山口県を中心に、西日本各地へ出荷されている。

「とにかくきれいで水質が安定している」  
代表取締役 三好 兼治氏

## 水質の安定が品質のブレを防ぐ

当社は田川工業水を砂ろ過、塩素殺菌し、豆腐や油揚げなど製造の全工程で活用しています。とにかくきれいで、また年間を通じてpHが7・2前後、硬度が50前後と水質が安定しているため、こうした特色が製品の品質維持につながっています。原料豆や水質、気候などに応じて豆腐製造には様々な



きれいな色に仕上がった油揚げ。水質の良さがふくらみにも大きなメリットをもたらす



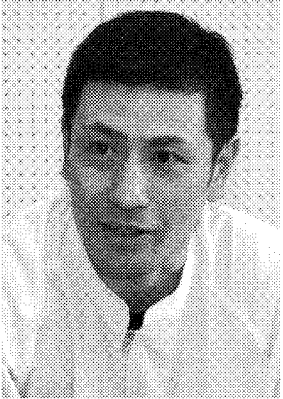
「こだわりの豆腐屋さん」と評される三好食品工業

## 企業紹介

## 松尾製菓

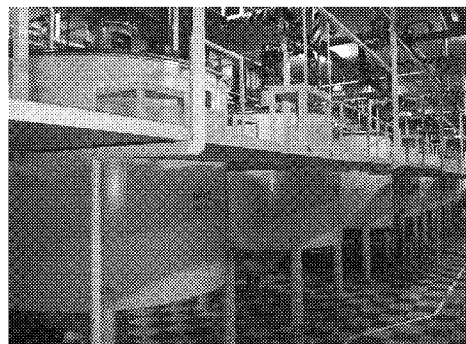
## チロルチョコ安定供給を陰で支える田川工業

1903年、福岡県田川郡伊田村(現田川市)で、製菓業として創業した松尾製菓。炭鉱で働く労働者に菓子で安らぎを提供し続けた。さらに、62年にチロレット部門に進出し、キャンパン商品「チロルチョコ」の発売を開始。誰でも気軽に買える手ごろな価格で提供するため、チロレットの中にスガーを入れた。そして、今では年間40アイテム、1億3500万個を生産する一大ブランドに。そのチロルチョコは今でも、田川市にある同社本社工場だけで生産する。

「機器洗浄後、表面に残留物が出にくい」  
製造課課長 中村 健氏

## 機器に対してもやさしい水質

ボイラーやチロレット保温用の温水、現場の洗浄水、スガーの冷却など間接的な用途では1日当たり210tもの水が必要になります。このため、豊富な水量を安価に得られる田川工業水は、当社製品の安定供給に対して非常に大きなメリットを発揮しています。ボイラーについては、硬度分があるとシリカゲルの付着により管体の



チョコレート生地のストレージタンク。チョコレート工場でも間接的な用途では多くの水が必要とする



チロルチョコは、本社工場だけで生産する

## 【田川市】

県内2大都市への好アクセスと豊富な水、低価格の分譲単価

田川市産業振興部長 坂本 美八男氏

福岡県のほぼ中央に位置する田川市は、福岡市と北九州市の県内2大都市に等距離でアクセスでき、高速道路を使用しなくても、比較的短時間で移動できるのが最大の魅力です。こうしたメリットを生かし、最近ではディスカウントストアを全国展開するトイアルカンパニーに九州地区の物流センターを白鳥工業団地へ進出していたいいます。周囲が山で囲まれたこの地域は、貯水池の集水面積が広く、水を豊富に確保できるという特色があり、それは大洪水時でも、田川市周辺は断水せずに済んだというエピソードが残されているほどです。産炭地域への就労支援として国の補助を受けて造成した工業団地が多いため、非常に低価格での分譲が可能です。

## 【川崎町】

町営レストラン作り  
若手後継者育成支援へ

川崎町財政企業立地課 坂本 宗之氏

川崎町では地元産の野菜をはじめ米、果物、加工品など地元農家が丹精込めて作った農産物を川崎町農産物直売所「De・愛」で販売しています。さらに、同敷地内に12月オープンを目指して町直営のレストランの建設を進めています。このレストランは「地産地消」をテーマに地元産の採れた野菜を使った創作料理を提供することで、一人でも多くの観光客の皆さんに川崎町に立ち寄ってもらえるような観光スポットを目指すものです。これにより全国に向けて「川崎町の野菜の美味しさ」をアピールするとともに、町と生産者が一体となって地元農家の若手後継者を育成する支援ができればと考えています。

## お問い合わせ先

○田川工業用水道に関して  
中小機構工業用水課(九州本部)

(電話) 092・263・0342

○望岳台団地に関して  
田川市(産業振興部企業・雇用対策課)

(電話) 0947・44・2000

○第2岩鼻工業団地、東田原工業団地、三井号四郎工業団地に関して  
川崎町(財政企業立地課)

(電話) 0947・72・3000

## 応援します、中小企業と地域の活力！

## 特徴

- 総合的な運営支援
- 計画的なハンズオン支援
- ネットワークを生かした高度、広域な支援

## 中小機構 九州は第23回 西日本食品産業創造展'13に出展します。

小間番号 N-12 S-44

## 出展内容

中小企業基盤整備機構九州本部が、販路開拓、事業展開などを支援している「食」に関連する中小企業が出展しています。機構の支援メニューによって誕生した「食」の商品などについて、支援内容と合わせて、ご紹介させていただきます。

中小機構 九州  
〒812-0038 福岡市博多区祇園町4番2号  
サンプラザ博多BLDG.  
TEL.092-263-1500  
FAX.092-263-1514

中小企業大学校直方校  
〒822-0005 福岡県直方市永満寺1463-2  
TEL.0949-28-1144

中小企業大学校人吉校  
〒868-0021 熊本県人吉市鬼木町桐山1769-1  
TEL.0966-23-6800

南九州事務所  
〒892-0842 鹿児島県鹿児島市  
東千石町1-38 南工芸会館ビル6F  
TEL.099-219-7882

お問い合わせは

TEL.092-263-1500

全国各地の産業用地のご案内!  
大規模工場用地から、オフィス・研究所用地を案内「産業用地ナビゲーター」  
<http://www.smrj.go.jp/sy-navi/>

中小機構 九州

検索

中小企業を  
応援してくれるところは、  
どこかな……。  
中小機構  
という選択。